

科学の目で見た世界自然遺産・知床

科学委員が地元みなさんに知床の「今」についてお話します

羅臼町

◆とき・場所

平成21年7月22日(水)

18:30～20:00

羅臼町公民館

◆内容

《南部オホーツク海、サロマ湖、
知床におけるアイスアルジーについて》

服部 寛

科学委員会委員

斜里町

◆とき・場所

平成21年7月23日(木)

18:30～20:00

斜里町立知床博物館

◆内容

《エゾシカの増加とそれに伴う植生
への影響》

梶 光一

科学委員会委員

エゾシカワーキンググループ座長

プログラム

- 主旨説明:大泰司紀之(科学委員会委員長)
- 最近の科学委員会の議論(科学委員会事務局)
- 講演(50分程度)
- 質疑・懇談(10分程度)
- 閉会挨拶:環境省釧路自然環境事務所



知床世界自然遺産地域科学委員会とは??
知床の自然環境を把握し、科学的データに基づいた管理に必要な助言をするため、学識経験者18名よりなる委員会

どなたでもお気軽にお越しください

《南部オホーツク海、サロマ湖、知床におけるアイスアルジーについて》

服部 寛 科学委員会委員

知床半島周辺は、流水で覆われる海域としては北半球で最も低い緯度に位置しています。この海水の中では海洋の食物網を最初に支えるアイスアルジー（植物プランクトンの珪藻類が中心）が増殖するため、独特の生態系を形成していると言われています。当日は、アイスアルジーとは何か、アイスアルジーと海水の関係や知床とサロマ湖、オホーツク海のアイスアルジーを比較することによって分かったことなどを紹介します。

《エゾシカの増加とそれに伴う植生への影響》

梶 光一 エゾシカワーキンググループ座長

知床の増えすぎたエゾシカをいかに保護、管理していくのかという「知床半島エゾシカ保護管理計画」に沿って、岬地区では密度操作実験（エゾシカの捕獲）が行われています。同時にエゾシカを捕獲することによる植物の生育状況についても調査しています。これらについての最新情報やエゾシカと植物の関係などについて紹介します。

～科学委員会事務局からのお知らせ～

▶H21 科学委員会と地域連絡会議は以下の日程で開催します。

＜知床世界自然遺産地域科学委員会＞

7月23日（木）14:00～17:00 斜里町 ゆめホール

＜知床世界自然遺産地域連絡会議＞

7月31日（金）13:00～15:30 斜里町産業会館 2階大ホール

今回はパブリックコメントを踏まえた遺産地域管理計画の取りまとめを議題とします！
会議はどなたでも傍聴いただけます。

▶地域連絡会議終了後にニュースレターを作成し、科学委員会と地域連絡会議での議論の結果を広くお知らせします！

【主催】 知床世界自然遺産地域科学委員会事務局（環境省釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道）

【協力】 羅臼町、斜里町

【お問い合わせ先】 環境省釧路自然環境事務所 担当：三宅 TEL：0154-32-7500